

極秘

15

大東亞戰爭先途ノ為

對支處理要領ニ基ク具體的方策ニ準據シ歐民政
府參戰ヲ豫トシ同政府ト締結スヘキ諸取極ニ歸スル
措置要領(案)

昭和十七年十二月十一日

大本營政府連絡會議了(案)

政府ヲ威殺スル部ヲ捕縛シノ人ヲ身止スル等諸處ニ
アノ威嚇ハ不文出版ノ絶絶ニ止メ其後各報ニ宣
ナトス
一、遺棄入軍兵并ノ遺ノ遺持ノ原キ被ニ被ニ
トス

大東亞省

東東2102 (日本標準規格 B5)

REEL No. A-1207

アジア歴史資料センター

極秘

7315

大東亞後進発展案

對支處理要綱(ニ基ク具體的方策ニ準據シ歐民政府
參戰ヲ懋トシ同政府ト締結スヘキ諸取極ニ歸スル
措置要領(一案)

昭和十七年十二月十一日

大東亞政府連絡會議了辦案

其ノリノ歐亞スル...
アノ是等ハ...
ナドトス
...

大東亞省

002102

REEL No. A-1207

アジア歴史資料センター

目次

- 一、戦争協力ニ關スル日華共同宣言ニ關スル件
- 二、帝國專權租界還付ニ關スル件
- 三、上海共同租界及厦門共同租界移管ニ關スル件
- 四、條伊租界還付方針ニ關スル件
- 五、北京公使館區域移管ニ關スル件
- 六、治外法權撤廢ニ關スル件
- 七、在支敵産處理ニ關スル件

一、戦争協力ニ關スル日華共同宣言ニ關スル件

(一) 戦争完遂ニ付テノ日華協力ニ關スル取極ノ内容形式等ハ別紙第一

要綱案ニ依ル

(二) 石炭類ニ關聯スル日華間ノ條ノ内容形式等ハ別紙第二要綱案ニ依

別紙第一

(一) 戦争完遂ニ付テノ日英協力ニ關スル取極ノ形式ハ「協定」「取極」

等必シモ拘泥セサルモ成ルヘク「共同宣言」(事前御裁可ノ上日

華兩國全權委員調印)ノ方式ニ依ルコト

(二) 本件取極ノ内容ハ左ノ趣旨ニ依ルコト

「米英ニ對スル共同ノ戦争ヲ完遂スル爲兩國ハ不動ノ決意、信念

トヲ以テ軍事上政治上經濟上完全ナル協力ヲ爲スモノナルコト

ヲ宣言ス」

(三) 本件取極ハ前印ト同時ニ公表スルコト

別紙第二

(一) 日華基本協定締結交渉ノ際ニ於ケル「共同宣言」(前記交渉

担当者)ト同様ノ方式ノ「共同宣言」ナル文書ヲ作成シ右文書

ニ於テ左ノ趣旨ノ日華間了却ヲ明確ニスルコト

「日英政府ハ各成ニ互リ自強ノ途ヲ開シ廣ク民心ヲ安撫シ得ニ戦

争完遂ノ爲必ズトスルに際シ増強ノ戰守目的ニ對スル官民認識

ノ養成ハ治安維持ノ強化等ノ要務ナル具現ヲ圖リ以テ戰守完

遂ニ實現スルモノナル旨

日本側ハ右ニ對シ積極的ニ助力ヲ與ヘ此ノ際組織進行、協

定協定、取極等ニ付テモ好意的態度ヲ執ルモノナル旨

(四) 本件「共同宣言」ハ公表セザルコト

註：國民政府宣戰布告中ニ載メ日本側ト協定ノ上戦争目的ヲ表示
セシムルコト

右國民政府戦争目的ニ付テハ他國ノ戦争目的ニ異論ヲ併セテ獨
伊等諸國及「タイ」國ノ戦争目的ヲモ動カシ置ネ正ノ趣旨ニ
シル如ク適宜國民政府側ニ於テスルコト

國民政府ノ戦争目的ハ日本ト協力シテ不英勢力ヲ一掃シ以テ
新中國ヲ建設シ東亞ノ解放ヲ圖リ進イテ世界全般ノ公正ナル

形勢ヲ振興ニ資與スルニ在リコト

三帝國專管境界遷行ニ關スル件

帝國專管境界ノ遷行ニ關シ英米露三國諸報ノ發言ニ依ル取也「一
等協力ニ關スル日華共同宣言」ト同時ニ編纂シ且公表ス

別紙第三

帝國專管租界還付ニ關スル取極ノ内容ハ左ノ趣旨ニ依ルコト

「日本國政府ハ現ニ日本國カ中華民國ニ於テ有スル專管租界ヲ中華
民國國民政府ニ還付ス

中華民國國民政府ハ舊租界ニ於ケル日本國民ノ居住及福祉等ニ
付テハ少クトモ從來ノ租界施政ノ程度ヲ維持スルモノトス

日本國政府及中華民國國民政府ハ天々萬數ノ要員ヲ任命シ本取極
ノ實施ニ關シ所要ノ事項ヲ裁定セシム」

三、上海共同租界及廈門共同租界還付ニ關スル序

上海共同租界及廈門共同租界還付ニ關シ別紙第一要約表ノ趣旨ニ依
ル取極ヲ「以テ協力ニ據スル日華共同宣言」ト號稱ニシテ總シテ一

紙ヲ公表ス
向平件並ニ關シテハ左ニシル

(一) 本件ハ別紙第三ニ示シタル上海共同租界及廈門共同租界還付ニ關
シテ行ヌルモノトス

(二) 上海共同租界ノ還付ハ既カハク之ヲ實施シテ居ルモノトス
中ニ之ヲ完了スルモノトス

廈門共同租界ノ還付ハ之ヲ實施スルモノトス

別紙第四

(一) 上海共同租界及厦門共同租界移管ニ關スル正式取極ノ内容ハ左ノ
趣旨ニ依ルモノトシテ不取極ハ之ヲ公表スルコト

「日本國政府ハ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ中華民國國民政府
ニ於テ成ルヘク速ニ上海共同租界及厦門共同租界ヲ同取
スルコトニ同意ス」

(二) 右正式取極ト同時ニ兩國交渉委員署名ノ「議事錄抜萃」ヲ以テ左
ノ趣旨ヲ内容トスル取極ヲ爲シ之ヲ秘密トスルコト

「上海共同租界移管實施ノ時期ハ共同租界内ニ於ケル友好關係益ノ
介在其ノ他諸設ノ事情アルニ付此等ノ處理ヲ了シタル上別ニ協
議決定スヘク又厦門共同租界移管ハ速ニ之ヲ實施ス」

31

四、佛伊租界還付方針ニ關スル件

(一) 帝國ノ專管租界還付取極締結ニ關シ伊國ニ對シ其ノ租界還付方
針ニ關シ右租界還付ハ帝國ニ就ヒ原則トシテ無條件トス但シ無條件
返還ニ關セサル場合ハ租界ノ實狀ニ關シ一定期間過度の借遣ヲ辦
スルコトヲ考慮ス

(二) 佛國ニ對シテハ前項ニ準スルモ其ノ時機ハ別途之ヲ定ム

(三) 國民政府ニ對シテハ佛伊租界還付方針實施スヘキ旨說明スルニ止メ
之カ爲ノ形式的文書ハ作成セス

32

別紙第五

北京公使館區域移管ニ關スル取極ノ内容ハ左ノ趣旨ニ關ルコト

「日本國政府ハ北京公使館區域ニ於ケル從來ノ特別行政ヲ中華民族

國民政府ニ於テ遂ニ同收スルコトニ同意ス」

334

五、北京公使館區域移管ニ關スル件

北京公使館區域ニ於ケル從來ノ特別行政ヲ中國國民ニ移管スル為別紙

第五號附案ノ趣旨ニ依ル取極ヲ「戰爭協力ニ關スル日華共高宣言」

ト同時ニ締結公表シ速ニ之ヲ實施ス

333

六 治外法權撤廢ニ關スル件

帝國ハ日華基本條約ニ基キ逐次支那ニ於ケル治外法權ノ撤廢ヲ行フ
モノトス
之ヲ爲別紙第大要綱案ノ趣旨ニ依ル取極ヲ「戰爭協力ニ關スル日華
共同宣言」ト同時ニ締結シ且公表ス

別紙第六

治外法權撤廢ニ關スル取極ノ内容ハ左ノ趣旨ニ依ルコト

「日本國政府ハ中華民國ニ於テ有スル其ノ治外法權ノ撤廢ヲ速ニ實
行スル意向ヲ有スルヲ以テ日華兩國政府ハ速ニ同啟ノ委員ヨリ成
ル專門委員會ヲ設置シ右ニ關スル具體案ヲ審議作成セシム
中華民國國民政府ハ日本國ノ治外法權ノ部分的又ハ全般的撤廢ニ
伴ヒ自國領域ヲ日本國臣民ノ居住營業ノ爲開放スヘク且日本國臣
民ニ對シテハ中華民國國民ニ比シ不利益ナル待遇ヲ與ヘサルモノ
トス

右事項ニ關シ前記專門委員會ヲシテ併セテ研究セシム」

註、帝國トシテハ治外法權撤廢ノ實行ハ前記專門委員會ニ付テ

3.6

335

ル具體案ノ作成ニ伴ヒ漸次之ヲ實施ニ移シテ全面的撤廢ニ
及フコトトシ先ツ國民政府ニ對スル財政援助ノ目的ニテ課
税ニ關スル我方特權ニ付速ニ調整ヲ加フル爲専門委員會ヲ
シテ先ツ課税問題ノ研究ニ當ラシムルモノトス

337

セ在支敵産處理ニ關スル件

在支敵産處理ニ關シ別紙第七要綱案ノ趣旨ニ依ル取極ヲ「戰爭協力

ニ關スル日華共同宣言」ト同時ニ行ヒ右ニ關シ公表シ速ニ實施ス

備考 本件公表ノ内容ハ別ニ定ム

336

加紙第七

中華帝國大使及國民政府外交部長高在漢口駐在文獻館處
ニ就シ左ノ趣旨ノ取極ヲ爲スコト

一、日本帝國政府ハ中華民國ニ於ケル日本領事館ノ^{撤去}、^{撤去}撤去ハ及
國民政府ハ^{系法}撤去ハ撤去完遂上ノ必要ニ依リ日本國自ラ之ヲ處置
スルモノノ外^{系法}撤去台法的方法ニ依リ^{撤去}撤去之ヲ國民政府ニ移管ス
ルノ用意アルニ付右了承アリタキ旨（在華^{撤去}撤去不設^{撤去}撤去內容旨）

二、中華國民政府ハ右日本領事館ノ好意的撤去ヲ欣然受領スルモノ
ナル旨（國民政府外交部長^{撤去}撤去內容旨）

37

一七、一三、一七

第三 對重慶方策ニ就テ

(一) 對重慶工作ノ經緯ニ就テ

對重慶工作ニ就テハ昭和十五年十一月十五日御前會議決定「支那
 事變處理要綱」ニ於テ帝國ノ對重慶工作ニ關シテハ「從來軍民ニ
 依リテ行ハレタル和平ノ爲ノ諸工作ハ一切之ヲ中止ス」ト定メ又
 新中央政府ノ對重慶和平工作ニ關シテハ「重慶側ハ究極ニ於テ新
 中央政府ニ合流セシムルモ新中央政府ヲシテ之カ急速ナル成功ニ
 焦慮スルカ如キ措置ヲ採ラサルモノトス」ト定メラレ全面和平ハ
 ノ未練ヲ賠シツツ一應重慶トノ關係ヲ斷絶シテ大長期戰態勢ヘ轉
 移スルコトトナレリ而シテ帝國政府及國民政府共ニ表面右態度ヲ
 維持シ來レルモ内ニ介在スル希望ハ共ニ何トカシテ重慶ニ働キカ
 ケ全面和平ニ導カントスルノ苦慮ナキニシモアラス特ニ國民政府
 ニ於テハ自ラカクスルコトヲ以テ其存立ノ使命ナリト考ヘ治下ヘ
 ノ政治力滲透ヲ第二義トシ重慶トノ和平ニ焦慮スルトコロアリタリ
 然ルトコロ大東亞戰爭勃發後ノ戰果ニ照應シ重慶屈伏政謀略工作
 ヲ開始セントスルノ氣運生シタルヲ以テ昭和十六年十二月二十四
 日大本營政府連絡會議ニ於テ「情勢ノ推移ニ伴フ對重慶屈伏工作
 ニ關スル件」ヲ決定シ重慶ノ屈伏ヲ目的トスル對重慶政謀略施策
 ヲ行ハントスル我方企圖ヲ明ラカニセラレタルモ尙且其實施時機
 屈伏條件等ニハ一切觸ルルコトナク單ニ重慶ノ動向ヲ諜知スル爲
 ノ諜報路線工作ノミヲ行フコトトシ大本營陸軍部之ニ任シ最近重
 慶側政治動向ノ一部ヲ偵知シ得タルモ重慶側ノ對日抗戰意識ハ未

日本陸軍省機密

タ熾烈ニシテ遂ニ屈伏工作ヘノ轉移ヲ策スルヲ得スシテ今日ニ至
レリ

(二)帝國今後ノ對重慶方策

今ヤ大東亞戰爭ハ長期^戦花崗化ヲ豫想セララルノミナラス對重慶徹
底的作戰指導ノ目途又今直チニ豫想シ得サル現下並今後ノ情勢ト
昭和十七年十一月七日大本營政府連絡會議決定「世界情勢判斷」
ニ於テモ明ラカナル如キ重慶ノ動向即チ「一、重慶ヘ其抗戰力逐次
低下スヘキモ米英ノ最後の勝利ヲ信シ依然繼戰意志ヲ放棄セサル
ヘシ、二、ハ重慶ハ今後益々「ソ」トノ提携ヲ強化シ米英ヨリノ物
的援助ノ復活ニ努ムルト共ニ逐次米英ノ對日航空作戰ノ促進強化
ヲ圖ルヘシ」トヲ併セ^{現狀勢}察スルトキハ對重慶徹底的作戰ノ伴ハサ
ル對重慶政謀略工作ヲ以テ對支全面的處理ヲ完ウセントスルノ企
圖ハ今日殆ト予想シ得サル情況トナレリ
依テ帝國^{現狀勢}ハ一切ノ重慶ニ對スル未練ヲ清算シテ政戰一致眞
ニ更新支那トノ一體化ヲ圖リ戰爭完遂ニ邁進スヘキモノト思考ス
然リト雖モ今後ニ於ケル世界情勢ノ變轉ハ必スシモ豫斷シ得ス殊
ニ國民政府ノ政治力強化ト重慶抗日ノ根據名目ノ覆滅ニ伴ヒ重慶
側ニシテ屈伏シ來ル場合又ハ重慶側屈伏崩壞ノ端緒ヲ予想シ得タ
ル場合ニ於テハ帝國^{現狀勢}ハ積極的ニ寛容ナル態度ヲ以テ之ニ臨ミ一切
ノ從來ノ行懸リヲ捨テテ之ヲ^先迎フルニ各サカナラサルヘキハ言フ
要セス大東亞戰爭間一日モ速カニ其ノ日ノ來ルヲ待ツノ心事ニ於
テハ變リ無ク極力此クノ如キ氣運ノ醸成ニ努メ好機到來ヲ予察セ

七、改メテ御決定ヲ願ヒ積極的ニ對重慶工作ノ結實ヲ圖ルヘキナ

リ

重慶側將領

從テ現下帝國ノ採ルヘキ對重慶施策ハ國民政府ノ奉職並ニ政治

一切用とらふ

力ノ強化及重慶抗日ノ根據名目ノ覆滅ニ伴フ對重慶宣傳ノ強化

等ありんて作

ト、其ニ依然對重慶諜報路線ヲ維持シテ重慶側動向ノ偵知

二別名とせし

重慶側抗戰體制ノ攪亂ニ努ムルハ情勢ノ變化ニ應シ得ルノ礎地ヲ

二即チ重慶

確立スルニ在リ

ニ現在重慶

國民政府今後ノ對重慶方策

切出せし

國民政府ノ對重慶態度ハ右帝國ノ方針ニ順應セシムルモ國民政府

參戰ノ新タナル性格ニ則リ從來ノ重慶側ニ對スル行懸リヲ捨テ某

ノ和平政権タルノ性格ヲ一擲ニ重慶トノ一切ノ連鎖ヲ遮斷シ

テ

其ニ意自強ノ方策ヲ確立シツツ眞ニ日支一體對米英戰爭協力ニ邁

進セシムヘキナリ

國家機密

8 部内第3 號

陸軍

第四 戰略方策ニ就テ

一七、一ニシテ

陸海軍ハ昭和十五年十一月十五日御前會議決定「支那事變處理要綱」ニ基テ既定方針ニ遵據シ大命ヲ奉戴シテ愈々占據地域内ノ治安肅正ニ徹底スルト共ニ對重慶壓迫ヲ強化シ重慶側繼戰企圖ノ破挫衰亡ニ努力シツツアル次第ニシテ今日何等其ノ變更ノ必要ヲ認メヌ益々之ニ邁進スヘキモノト確信シアリ

唯茲ニ一言致シ度キハ對重慶經濟封鎖ニ關スル觀念ノ調整ナリ

即チ對米英開戰前ニ於テハ上海香港ヲ中繼トシ中南支方面ヨリスル

米英ノ對重慶補給力由華軍ヲ帝國艦船ヲ監視下ニ於テ行ハレアリ

ルノミナラス佛印及「ビルマ」公路ノ活動活潑ナリシヲ以テ對重慶

經濟封鎖ノ必要特ニ重視セラレタリタル次第キシテ從來陸海軍

共ニ對重慶經濟封鎖ニ專念シアリタルモノナルカ今ヤ大東亞戰爭下

ノ現情勢ニ於テハ帝國ノ戰略態勢其レ自體力既ニ封鎖態勢ヲ形成シ

對米英開戰前企圖シアリタル經濟封鎖ノ目的ハ既ニ十中八九分通り

ヲ達成シ剩ス所ハ僅カニ我カ占據地域ヨリスル戰爭必需物資ノ敵方

地域ヘノ流ヲ阻止ノミトナマリ

從テ大局的見地ヨリ觀レハ經濟封鎖ニ對スル努力ノ必要ハ大東亞戰

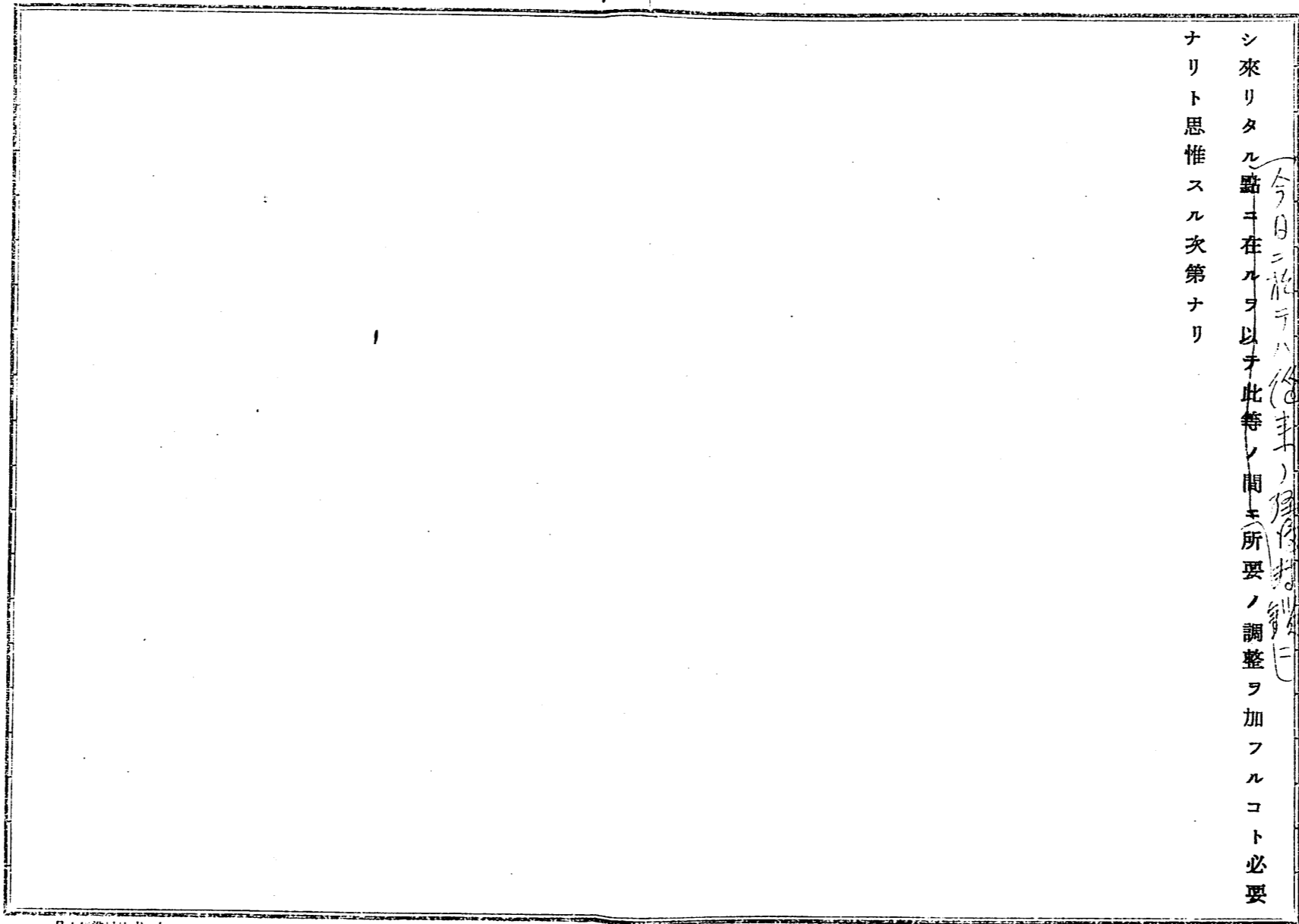
爭開始前ニ比シ著シク低下セリ。雖之ヲ以テ對敵經濟封鎖ノ必要解

消セリト見做シ敵方地域ヘノ物資ノ流ヲ其儘ニ放置セントスルカ

如キハ大ナル誤ナリ

要ハ帝國物的國力ノ現狀ニ鑑ミ戰爭遂行上必要トスル物資獲得ノ要

請カ大東亞戰爭遂行下ノ現在極メテ切實ナル問題トシテ著シク重加



シ來リタル點ニ在ルヲ以テ此等ノ間ニ所要ノ調整ヲ加フルコト必要ナリト思惟スル次第ナリ

今日ニ於テハ(後)軍ノ(陸)軍(海)軍(空)軍ニ

陸軍

REEL No. A-1207

0280

アジア歴史資料センター

タイアライナー用紙(粘着用) (粘着用紙)

汪主席訪日ノ際ニ於ケル新聞發表文(案)一七、一三、一七、
 中華民國國民政府主席兼行政院院長汪精衛氏ハ大東亞戰爭一周年ヲ
 期トシ日本側ノ赫々タル戰果ニ祝意ヲ表スルト共ニ日華提携ヲ更ニ
 緊密化スル目的ヲ以テ我方要路ト懇談ノ爲十二月十九日海鷲號ニテ
 南京發翌二十日羽田ニ到着セルカ汪精衛氏ハ二十二日國民政府主席
 トシテ宮城ニ參入、二十三日以降ハ行政院院長ノ資格ニテ總理外
 閣
 周林申ト會談ノ豫定ナリ
 尙一行ハ汪院長ノ外行政院副院長兼財政部長周佛海氏、外交部長褚
 民誼氏、實業部長梅思平氏、宣傳部長林柏生氏、軍事參議院院長陸
 軍大將蕭叔宣氏其他約十名ナリ

大東亞省

原簿2102 (日本標準用紙 B5)

極秘

昭和一七、一三、二〇

汪主席訪日ノ際ニ於ケル新聞發表文(案)一七、一三、一七、

汪主席訪日ノ際ニ於ケル新聞發表文(案)一七、一三、一七、

汪主席訪日ノ際ニ於ケル新聞發表文(案)一七、一三、一七、

汪主席訪日ノ際ニ於ケル新聞發表文(案)一七、一三、一七、

汪主席訪日ノ際ニ於ケル新聞發表文(案)一七、一三、一七、

東條總理大臣ノ汪行政院長ニ對スル談話要領
 一、國民政府參戰ニ就テ
 二、帝國ハ國民政府ノ希望ニ應ジ同政府ノ米英ニ對スル宣戰ニ同意
 ス

(ロ)宣戰ノ時機ハ諸般ノ準備ノ都合モアリ我方トシテハ概ネ明年一
 月中旬以降ニ當ナル時機ヲ提ヘラルコトヲ希望スル次第ニシ
 テ具體的期日ニ付テハ追テ在華帝國大使ヲシテ貴方ト連絡セシ
 ムルコトト致度シ

(ハ)參戰ニ伴フ諸準備ハ日華双方共ニ絕對秘密ニ行フコトト致度

76

二、對等協力ニ就テ

國民政府參戰ニ依リ米英ニ對スル戰争ハ平等ニ日華共闘ノ戰争トナルヲ第一ナルカ日華兩國ハ愚々不肖ノ決意ト信念トヲ以テ共同戰争完遂ノ爲メ至ニ協カスルコトト堅信シ民衆ノ力ニ於テハ特ニ戰争遂行ノ爲メ至トスル生産ノ増強、戰争目的ニ達スル爲メ戰争ノ普及ニ治養維持ノ強化等ノ適當ナル具體ヲ圖リ戰争協カニ盡心盡力ヲ加ヘンメラレンコトヲ切ニ希望ス

三、國民政府政治力強化ニ就テ

吾國ハ國民政府ノ政治力強化ニ行政力援助ヲ與フルノ熱意ヲ有ス就テハ帝國トシテハ中國ニ於ケル至急、治外法權等ノ撤廃等ノ諸

事態ハ中國ノ主權及領土尊重ノ要旨ニ基キ遠ニ之カ撤廢乃至調整ヲ圖ルノミナラス敵産處理ニ關シテモ出來得ル限り中國側ニ對シ好意の措置ヲ講シ又從來ノ諸懸案等モ爲シ得ル限り速ニ解決ヲ圖ルノ用意アリ

國民政府ニ於テモ各級ニ亘リ自衛ノ途ヲ講シ廣ク民心ヲ獲得シ國民一體戰争協カニ邁進セラレンコトヲ希望ス

四、對重慶方策ニ就テ

帝國ハ重慶ニ對シ之ヲ對手トスル一切ノ和平工作ハ之ヲ行ハサル方針ナリ國民政府ニ於テモ右帝國ノ態度ト向調セラレンコトヲ希望ス

五、結語

以上ノ趣旨ノ細部ニ付テハ追テ在華帝國大使ヲシテ貴方ト充分連絡協議セシムヘキモ要スルニ國民政府參戰ヲ以テ日華間局面打開ノ一大轉機トシ遠ニ日華提携ノ根本精神ニ則ル施策ノ結實ヲ圖リ眞ニ日華一體トナリ共同戰爭完遂ニ邁進スルコトト致度シ

昨年十二月八日及九日奉大東亞戰爭ヲ發動シ我國國民政府両首共皆ノ聲明ヲ發表シテ以來先給ハ如何ニシテ入東亞戰爭ニ協力シ中國ノ責任ヲ盡スベキカニ付計息無慮スル所アリタル方中國連年ノ疲弊ニ加フルニ至固和平未タ實現セサル爲メ協力ノ誠意アルモ以力ニシテ貢獻スルコト能ハサルヲ熱心シ今年元旦新國民運動ヲ發起シ新シキ精神ヲ以テ新ラシキ時代ノ渡頭ヲ倚ハシムル趣旨ノ下ニ精神活動ヲ展開セリ中國八百年以來具ニ中央帝國主義ノ盛衰ヲ受ク一部ノ人ハ具ノ改革ニ努力スル所トナリ二十餘年來ハ史ニ共產主義ノ猖獗スルアリ此ノ二種ノ善母ハ政治、經濟、文化ノ一切ニ浸潤シ居レリ今

十二月二十日
 孫科
 汪精衛
 張群
 李烈鈞
 白崇禧
 何應欽
 陳誠
 蔣中正

大東亞省

(重原2102)(日本標準時局 B.5)

日ノ急務ハ心埒上徹底的ニ之ヲ改造スルヨリ大ナルハ無シ其ノ着手ノ方法トシテハ我國國父孫先生ノ大亞細主義ニ歸リ以テ友邦日本ノ東亞新秩序建設ノ「スローガン」ニ呼應シ東洋ノ道義的觀念ニ基キ中日共存共榮カ吾人前途ノ光明アル目標ナルコトヲ確信シ勇猛精進刻苦忍耐ノ精神ヲ以テ之ニ赴カシムルニ在リ即チ消極的方面ニ於テハ英米ノ帝國主義及共產主義ノ流毒ヲ肅清シ積極的方面ニ於テハ東亞民族精誠團結ノ基礎ヲ樹立スルニ在リ今年元旦以來種々ノ宣傳訓練方法ヲ用ヒテ社會ノ人心ヲ積極的ニ推進シ殊ニ在學中ノ青少年及勤勞青少年方面ニ對シテハ新國民運動總領ヲ頒布シ青少年團ノ基礎的信條ヲ明瞭ニシ中央陸軍軍官學校ニ於テハ更ニ學生ヲシテ中國ノ

大東亞省

(東東2102)(日本標準規格 B5)

解放ハ大東亞戰爭勝利中ニ於テ之ヲ求ムベキモノニシテ寸毫モ躊躇スルコトナク中華復興、東亞保衛ノ責任ヲ及肩ニ荷フベキ旨ヲ明ニセシムルニ意ヲ注キ更ニ右訓練ヲシテ一殺軍隊中ニ迅速ニ普及セシムル爲メ首領ニ中央陸軍將校訓練團ヲ設置シテ全團ノ軍官ヲ召集シ期ヲ分チテ順次訓練ヲ受ケシメ將校隊ト幹部總隊トニ分チ將校隊ハ中將以下大佐迄訓練期間ヲ一ヶ月トシ幹部總隊ハ中佐以下少尉マテ訓練期間ヲ二ヶ月トシ訓練期間ニ於テハ必要ナル軍事學科ヲ授クル外殊ニ精神訓練ニ注意シ大東亞戰爭協力ノ趣旨ヲ徹底セシムルニ努メツツアリ

大東亞省

(東東2102)(日本標準規格 B5)

ツ隨時具ノ心理ヲ考察シ其ノ疑問ヲ解釋シツツアルガ斯クノ如キ長期ノ訓練ヲ經テ一般社會特ニ一般學生及軍人ハ大東亞戰爭協力ノ主旨ニ對シ相當ノ認識ト信念ヲ深メ之ヲ大東亞戰爭勃發ノ當初ニ較ブレハ確カニ相當ノ進歩アリト確信スルモノナリ

タイフワイター用寫真用半張(熟見原形)

(東京2102)(日本標準規格B5)

大東亞省

兆銘亦曾テ深ク念フニ建軍ハ至ツテ複雑多端ニシテ短期間ノ能ク完成スル所ニ非ズ故ニ同時ニ幹部同志ト彈思端慮重慶側ヲシテ悟ラシメンコトヲ期セリ若シ彼等ニシテ反省シ毅然トシテ其ノ態度ヲ改ムルニ於テハ兆銘等必ズ誠意ヲ以テ之ト提携合作シ全面和平ヲ實現シ中國ノ大東亞戰爭協力ノ力亦増加スベキヲ期待セリ奈何セン專志ト違ヒ蔣介石等ハ嘗ニ毫モ悟ルトコロナキノミナラズ益々深ミニ陥リ英米等ノ諸國ト單獨不講和ノ協定ヲ締結シテヨリ後ハ一層轉換ノ途ノ餘地無キニ至レリ兆銘等絶望ノ餘是等東亞ノ叛逆ニ對シテハ勸告スルモ效果ナク且ツ英米ノ重慶援助ハ「ビルマルト」ノ切斷ニ依リ絶ユルコトナク種々ノ救濟方法ヲ講ジ其ノ勾結ノ手段亦日ト俱ニ

タイフワイター用寫真用半張(熟見原形)

(東京2102)(日本標準規格B5)

大東亞省

深キヲ知ル兆銘等ハ國民政府ハ此際寧ロ其ノ決心ト立場トヲ表明シ
 一切ノ人力物力ヲ動員シテ大東亞戰爭ニ參加シテこそ始メテ能ク和
 平地區内ノ民衆ヲシテ旗幟ヲ鮮明ニシ武伐ヲ整齊シ東亞ノ同志敵愾
 同仇ノ戰線ニ立タシメ同時ニ和平地區外ノ民衆ヲシテ漸次其ノ東亞
 ノ叛逆タルコトヲ自覺セシメ内部的崩潰ヲ促進スルコトヲ得ベシ是
 レ國民政府ガ同甘共苦ヨリ一步ヲ進メテ參戰ノ決意ヲ主張スル所以
 ナリ

大東亞省

(東京2102)(日本標準規格 B5)

若シ參戰實現センカ國民政府トシテ軍事方面ニ力ヲ致スヘキモノハ
 第一ニ現在ノ軍隊ニ對シ出來得ル限りノ整理訓練ヲ施シ能ク和平地
 區内ノ治安ヲ保障シ友邦駐屯軍ノ負擔ノ軽減ヲ期スルニアリ第二ニ
 現在ノ軍隊ノ内其ノ比較的優秀ナルモノヲ擇ヒテ改メテ簡拔配備ヲ
 行ヒ之ヲ前線ニ派遣シテ能ク友邦將士ノ辛勞ヲ分タシコトヲ期スヘ
 シ同時ニ國內ニ於テハ大東亞戰爭ニ對スル戰意ハ之カ爲メ益々昂揚
 セラレ貫我兩國カ安危ヲ共ニシ生死ヲ同フスルノ熱情ト決意トハ之
 ニ依リ益々普遍的且ツ鞏固トナルヘシ

大東亞省

(東京2102)(日本標準規格 B5)

經濟方面ニ於テモ軍事ト同様大東亞戰爭中ニ於テ不斷ニ増強ヲ圖リ
 益々大東亞戰爭ニ裨益スル所アラシメントスルモノニシテ増強ノ方
 法トシテハ第一ニ生産増加ナルガ農民ノ耕作ニ依リ得ル所ハ生活ヲ
 維持スルヲ除クノ外再生産ノ能力ヲ發揮セシメ又各種ノ工業ヲ恢復
 シ燃料ト原料トヲ供給シ各種ノ企業ヲシテ各種ノ工業品ヲ製造セ
 シメントスルニアリ是レ重要ノ和平地區内緊要ノ重要條件ナルノミナ
 ラズ非和平地區内物資ヲ吸收スル上ニ於テモ亦重要ナル作用ヲ為ス
 モノナリ第二ハ消費節約ナルガ務メテ人民ヲシテ公私奉公ノ念ヲ以
 テ其ノ需用ヲ節約シ其ノ能率ヲ擴充セシムルニアリ第三ハ合理的統
 制方法ヲ以テ分配ヲ平均ニシ物資ヲ安定セシメ國計民生何レモ底無

大東亞省

(資料2102) (日本標準規格 B5)

キ恐慌ニ召ルコトナカラシムルニアリ以上者ヲ能ク識シ得レバ中
 國ノ經濟力ハ立ロニ舌下トナリ必ズヤ其ノ得ル所ヲ以テ種々之ヲ大
 東亞戰爭ノ用ニ供スルヲ得ベシ友邦日本ハ獲ニ中國ニ對シ誠實態度
 ノ要求ヲ為サズ中國人民ハ深ク感激シ居ル所ナルモ唯全面和平向未
 ダ實現セザル爲メ重要備ハ遂ニ日本ハ戰ヲ以テ戰ヲ變フモノナリト
 ノ宣言セル宣專ヲ以テ中傷離間ノ計ヲ爲シツツアリ今若シ參戰ヲ實
 行スレバ中國人民ハ其ノ生産ニ依リ得ル所ノ又ハ節約ニ依リ餘ス所
 ノ物資ハ之ヲ大東亞戰爭ノ用ニ充ツベキモノナルコトヲ知ルニ至ル
 ベク友邦ニ對シテハ戰費ノ分擔トナリ自己ニ對シテハ能ク大東亞戰
 爭完遂ノ一部分ノ責任ヲ盡スコトトナリ一層感激勇躍シテ内ハ以テ

大東亞省

(資料2102) (日本標準規格 B5)

2609

東亞同志ノ氣ヲ壯トシ外ハ以テ果敢奮進ノ口ヲ塞キ其ノ膽ヲ寒カラ
シムルニ至ルベク其ノ效果ノ大ナル軍事ト同ジク或ハ之ニ過グルモ
ノアルベシ

以上ハ兆緒ノ參戰問題ニ對スル見解ト決心ナリ尙最後ニ一言附加ス
ベキコトアリ中國國內ニ於テ參戰問題ニ論及スル際一部ノ者ハ中國
ノ經濟及軍事ハ或ハ之ニ因リ一層其ノ自主性ト獨立性トヲ失フニ非
ズヤト憂慮スルヲ免レズ兆緒思フニ參戰以後南國ノ緊密ナル提携ハ
更ニ一步ヲ進メ中國ノ中央行政機構亦調整ヲ加ヘ中央ノ各地方政府
ニ對スル統制力亦強化シ戰時體制ニ適合セシムベキヲ以テ友邦日本
ノ中國主權ヲ尊重スルコトト中國ガ虚心瞻望ニ友邦日本ト協力スル

マイクワイター用特製用牛紙(熟見紙類)

大東亞省

(標準2102)(日本標準規格B5)

0 48

2609

コトトハ必ズヤ双方共ノ宜シキヲ得ルニ至ルベキヲ信ズ吾人ハ大東
亞戰爭ノ完遂ハ實我兩國ノ共同出路タルコトヲ確認シ壯烈純潔ナル
義戦ニ盡キ力ヲ盡シテ以テ死ヲ請フテ阿我兩國父孫先
生ノ垂示セル大東亞主義ガ大ニ光明ヲ放ツ日ノアランコトヲ期スル
ノミナリ

マイクワイター用特製用牛紙(熟見紙類)

大東亞省

(標準2102)(日本標準規格B5)

0 49

REEL No. A-1207

2609

大東亞省

昭和十七年十二月二十九日

外務大臣 谷 正之
大東亞大臣 青木 一男

次長
政務局長
政務次長

中華民國駐節
特命全權大使 重光 葵 殿

國民政府トノ諸取極締結ニ關スル交渉方
訓令ノ件

今般貴使在京中本大臣等ヨリ委細面陳ノ通帝國ハ國民政府參戰ヲ以
テ日支間局面打開ノ一大轉機トシ日支提携ノ根本精神ニ則リ專ラ感

大東亞省

(東東2102)(日本標準規格 B5)

0 50

2609

民政府ノ政治力ヲ強化スルト共ニ重慶抗日ノ根據名目ノ覆滅ヲ圖リ
眞ニ更新支那ト一體戰爭完遂ニ邁進スルノ根本方針ヲ確立シ而シテ
世界戦局ノ推移ト睨合セ米英側反攻ノ最高潮ニ達スルニ先チ右方針
ニ基ク對支諸施策ノ結實ヲ圖ルノ確固タル決意ヲ有スル次第ニシテ
右ニ基ク諸施策一般ニ關シテハ所要ニ應シ大東亞大臣ヨリ別途訓令
アルヘキ處國民政府參戰ヲ機トシ同政府トノ間ニ戰爭完遂ニ付テノ
日華協力ニ關スル件、帝國ノ專管租界還付ニ關スル件、上海共同租
界及厦門共同租界移管ニ關スル件、北京公使館區域移管ニ關スル件
治外法權撤廢ニ關スル件竝ニ在支敵産處理ニ關スル件ニ關シ別紙甲
號一大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針ニ基ク具體的方策ニ準

大東亞省

(東東2102)(日本標準規格 B5)

0 51

REEL No. A-1207

據シ國民政府參戰ヲ機トシ同政府ト締結スヘキ諸取極ニ關スル措置要領」(以下「措置要領」ト略稱ス)ニ據リ諸取極ノ締結ヲ行フコトニ方針決定シタルニ付^{委細右措置要領ニ就キ御了知の上}大至急右ニ依リ國民政府ト交渉ヲ開始セラレ度國民政府參戰時期トノ關係モアリ明年一月十四日迄ニハ以後何時ニテモ前記諸取極ノ調印ヲ爲シ得ル様一切ノ手續ヲ完了シ置クコト必要ナルニ付出來得ル限り速急ニ先方トノ間ニ諸取極案ニ付事實上妥結ヲ了シ進クモ一月七日迄ニハ妥結案^{取極}カ當方ニ接到スル様御取計相成度又諸取極案文ハ別紙乙號ノ通りニ妥結ヲ見ル様極力努力セラレ度尙左記事項併セテ御留意アリ度

記

大東亞省

一、戰爭協力ニ關スル日華協同宣言ニ關スル件(「措置要領」一)ニ關シ

(1)帝國ハ國民政府參戰ヲ以テ日支間局面打開ノ一大轉機トシ日支提携ノ根本精神ニ則リ專ラ國民政府ノ政治力ヲ強化スルト共ニ重慶抗日ノ根據名目ノ覆滅ヲ圖リ眞ニ更新支那ト一體戰爭完遂ニ邁進スルノ根本方針ヲ確立セルコトハ前記ノ通ニシテ帝國ハ右方針ニ基ク各般ノ具體的方策ヲ迅速果敢ニ實行セントスルモノナルカ日華兩國ノ戰爭協力ヲ確保シ共同戰爭完遂ノ牢固タル決意ヲ盟約宣明スルコトハ兩國ノ意思ニ適合スルノミナラス政治的效果ノ^上見地ヨリスルモ必要ノ措置ト思考セララル次第ナリ

大東亞省

形勢
安
保

右ノ次第ニ鑑ミ本件宣言ハ今後日華戦争協力ノ**本意**ヲ示スルヘキモノニシテ我方トシテハ特ニ之ヲ重視スルモノナリ

(四) 本件宣言ニ關聯スル日華間了解(「措置要領」ニ)ハ實質的ニハ謂ハハ本件宣言ト一體ヲ爲スモノニシテ均シク我方ノ重視スル所ナリ

(ハ) 「措置要領」別紙第三中ノ註記載ノ點ニ關シテハ國民政府側ニ於テモ如オナキコトト思考セラルルモ戦争目的ノ確定カ事ノ性質上極メテ重要ナルニ鑑ミ特ニ我方トシテモ關心ヲ有スル次第ナリ尚右註記載文中「東亞ノ解放」ナル字句ハ我方トシテハ公ニ之ヲ使用スルコトハ出來得ル限り之ヲ避クルヲ可トスルノ考

大東亞省

應モアル次第ナルモ支那側カ之ヲ使用スルコトニハ我方トシテ別段差支ナク又支那側ヨリスレハ寧ロ政治的ニ適當ナリ

推セラルルヲ以テ右字句ヲ用ヒタルモノナリ

ニ、帝國專管租界還付ニ關スル件(「措置要領」ニ)ニ關シ

帝國ハ支那ニ於ケル租界、治外法權其ノ他特異ノ諸事態ハ支那ノ主權及領土尊重ノ趣旨ニ基キ之カ撤廢乃至調整ヲ圖ルコトニ決シタルカ帝國カ今回斷然右ノ如ク決意スルニ至リタルハ前記根本方針ニ基ク深キ考慮ノ結果ニシテ素ヨリ「日本側ノ連袂」ト言フカ如キ消極的小乘的見地ヨリ出タルモノニアラズ帝國カ今後執ルヘキ右根本方針ニ基ク**積極**具體的方策ノ實施ト相俟テ眞ニ右根本方

大東亞省

別紙の
形式
を
用
す

針ノ具環ニ寄與セシメントスル積極的意圖ニ出テタルモノニ外ナ
 ラス若シ万一支那側ニ於テセテ日本側ハ「退却」ト言フカキ誤解アル場合
 ニハ「啓蒙」要アルコト勿論ナリ
 三 上海共同租界及厦門共同租界移管ニ關スル件（「措置要領」三）
 ニ關シ
 上海共同租界及厦門共同租界ノ移管實施ノ時期ニ付テハ我方トシ
 テハ「措置要領」三ノ（二）及（三）ノ通りトスル方針ナルモ右ノ中（二）ヲ
 支那側ニ明示スルコトハ此ノ際差控フルヲ要ス
 四 佛伊租界還付方斡旋ニ關スル件（「措置要領」四）ニ關シ
 佛國ニ對スル租界返還方斡旋ノ切出シ時機ニ付テハ主トシテ對佛
 印施策トノ關係上特別ノ考慮ヲ要スル次第ナルカ右ハ素ヨリ支那

大東亞省

側ニ對シテ打明クヘキ性質ノモノニアラス
 五 北京公使館區域移管ニ關スル件（「措置要領」五）ニ關シ
 「措置要領」五ハ公使館區域ニ「常置保護兵ヲ置クノ權利」ニハ
 觸レ居ラサルモノナリ但シ右ハ我方ヨリ進ンテ支那側ニ對シ説明
 スルニ及ハサルモノトス
 六 治外法權撤廢ニ關スル件（「措置要領」六）ニ關シ
 「措置要領」中別紙第六ノ註記載ノ點ハ帝國トシテノ意向ナルカ
 右ハ適宜支那側ニ對シ説明シ差支ナシ
 七 在支敵産處理ニ關スル件（「措置要領」七）ニ關シ
 「措置要領」中別紙第七ノ往復書翰ハ樞密院ニ御諮詢相成ルヘキ

大東亞省

2609

交換公文タルコトヲ豫想スルモノニアラス

[Redacted text]

タイプライター用紙(用紙)半張(見取)

大東亞省

(重厚2102)(日本標準規格B5)

C 58

2609

昭和十七年十二月二十九日

外務大臣 谷 正之

大東亞大臣 青木 一男

中華民國駐劄
特命全權大使 重光 葵 殿

國民政府トノ諸取極締結ニ關スル交渉方
訓令ノ件

今般貴使在京中本大臣等ヨリ委細面陳ノ通帝國ハ國民政府參戰ヲ
以テ日支間局面打開ノ一大轉機トシ日支提携ノ根本精神ニ則リ專

外務省

(日本標準規格B5)

C 59

REEL No. A-1207

アジア歴史資料センター

國民政府ノ政治力ヲ強化スルト共ニ重慶抗日ノ根據名目ノ貫徹ヲ圖リ眞ニ更新支那ト一體戰爭完遂ニ邁進スルノ根本方針ヲ確立シ而シテ世界戰局ノ推移ト配合セ米英獨反攻ノ最高潮ニ達スルニ先チ右方針ニ基ク對支諸施策ノ結實ヲ圖ルノ確固タル決意ヲ有スル次第ニシテ右ニ基ク諸施策一般ニ關シテハ所費ニ應シ大東亞大臣ヨリ別途訓令アルヘキ處國民政府參戰ヲ機トシ同政府トノ間ニ戰爭完遂ニ付テノ日華協力ニ關スル件、帝國ノ專管租界還付ニ關スル件、上海共同租界及廈門共同租界移管ニ關スル件、北京公使館區域移管ニ關スル件、治外法權撤廢ニ關スル件並ニ在支敵產處理ニ關スル件ニ關シ別紙甲號「大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針ニ基ク具體的方策ニ準據シ國民政府參戰ヲ機トシ同政府ト

(日本標準規格B5)

外務省

締結スヘキ諸取極ニ關スル措置要領」(以下「措置要領」ト略稱ス)ニ據リ諸取極ノ締結ヲ行フコトニ方針決定シタルニ付委細右「措置要領」ニ就キ御了知ノ上大至急右ニ依リ國民政府ト交渉ヲ開始セラレ度國民政府參戰時期トノ關係モアリ明年一月十四日迄ニハ以後何時ニテモ前記諸取極ノ調印ヲ爲シ得ル様一切ノ手續ヲ完了シ置クコト必要ナルニ付出來得ル限り速急ニ先方トノ間ニ諸取極案ニ付事實上妥結ヲ了シ遅クモ一月七日迄ニハ妥結取極案カ當方ニ接到スル様御取計相成度又諸取極案文ハ別紙乙號ノ通りニ妥結ヲ見ル様御力努力セラレ度尙左記事項併セテ御留意アリ度

記

一 戰爭協力ニ關スル日華協同宣言ニ關スル件
一 「措置要領」

外務省

(日本標準規格B5)

ニ關シ

(1) 帝國ハ國民政府參戰ヲ以テ日支間局面打開ノ一大轉機トシ日支提携ノ根本精神ニ則リ專ラ國民政府ノ政治力ヲ強化スルト共ニ重慶抗日ノ根據名目ノ復滅ヲ圖リ眞ニ更新支那ト一體戰爭完遂ニ邁進スルノ根本方針ヲ確立セルコトハ前記ノ通ニシテ帝國ハ右方針ニ基ク各般ノ具體的方策ヲ迅速果敢ニ實行セントスルモノナルカ日華兩國ノ戰爭協力ヲ確保シ共同戰爭完遂ノ牢固タル決意ヲ盟約宣明スルコトハ兩國ノ意思ニ適合スルノミナラス政治的效果ノ上ヨリスルモ必要ノ措置ト思考セラルル次第ナリ

右ノ次第ニ鑑ミ本件宣言ハ今後日華戰爭協力ノ基本的取極タル

外務省

ルヘキモノニシテ我方トシテハ特ニ之ヲ重視スルモノナリ

(四) 本件宣言ニ關聯スル日華間了解「措置要領」一ノ(二)ハ實質的ニハ謂ハハ本件宣言ト一體ヲ爲スモノニシテ均シク我方ノ重視スル所ナリ

ハ「措置要領」別紙第二中ノ註記載ノ點ニ關シテハ國民政府側ニ於テモ如オナキコトト思考セラルルモ戰爭目的ノ確定力事ノ性質上極メテ重要ナルニ鑑ミ特ニ我方トシテモ關心ヲ有スル次第ナリ尙右註記載文中「東亞ノ解放」ナル字句ハ我方トシテハ公ニ之ヲ使用スルコトハ出來得ル限り之ヲ避クルヲ可トスルノ考慮モアル次第ナルモ支那側力之ヲ使用スルコトニハ我方トシテ別段支ナク又支那側ヨリスレハ寧ろ政治的ニ

外務省

適當ナリト推セラルルヲ以テ右字句ヲ用ヒタルモノナリ

ニ帝國專管租界還付ニ關スル件（「措置要領」ニ）ニ關シ

帝國ハ支那ニ於ケル租界、治外法權具ノ他特異ノ諸事態ハ支那ノ主權及領土尊重ノ趣旨ニ基キ之カ撤廢乃至調整ヲ圖ルコトニ決シタルカ帝國カ今回斷然右ノ如ク決意スルニ至リタルハ前記根本方針ニ基ク深キ考慮ノ結果ニシテ帝國カ今後執ルヘキ右根本方針ニ基ク諸般ノ具體的方策ノ實施ト相俟テ眞ニ右根本方針ノ具現ニ奇與セシメントスル積極的意圖ニ出テタルモノニ外ナラス若シ萬一支那側ニ於テ之ヲ以テ日本側ノ「退却」ト言フカ如キ誤解アル場合ニハ啓蒙ノ要アルコト勿論ナリ

三上海共同租界及廈門共同租界移管ニ關スル件（「措置要領」ニ）

外務省

ニ關シ

上海共同租界及廈門共同租界ノ移管實施ノ時機ニ付テハ我方トシテハ「措置要領」ニ（二）及（三）ノ通りトスル方針ナルモ右ノ中（二）ヲ支那側ニ明示スルコトハ此ノ際差控フルヲ要ス

四佛伊租界還付方將旋ニ關スル件（「措置要領」ニ）ニ關シ

佛國ニ對スル租界返還方將旋ノ切出シ時機ニ付テハ主トシテ對佛印施策トノ關係上特別ノ考慮ヲ要スル次第ナルカ右ハ素ヨリ支那側ニ對シテ打明クヘキ性質ノモノニアラス

五北京公使館區域移管ニ關スル件（「措置要領」ニ）ニ關シ

「措置要領」ニハ公使館區域ニ「常置保護兵ヲ置クノ權利」ニハ觸レ居ラサルモノナリ但シ右ハ我方ヨリ進ンテ支那側ニ對シ

外務省

2609

説明スルニ及ハサルモノトス

六 治外法權撤廢ニ關スル件（「措置要領」六）ニ關シ

「措置要領」中別紙第六ノ註記載ノ點ハ帝國トシテノ意向ナル

カ右ハ適宜支那側ニ對シ説明シ差支ナシ

七 在支敵産處理ニ關スル件（「措置要領」七）ニ關シ

「措置要領」中別紙第七ノ往復書翰ハ極密院ニ御諮詢相成ルヘ

キ 交換公文タルコトヲ豫想スルモノニアラス

(日本標準規格B5) C 66

外務省

別紙甲號

2609

大東亞戰爭完遂ノ爲ノ公文處理根本方針ニ基ク具

體の方策ニ準據シ國民政府參戰ヲ機トシ向政府ト

締結スヘキ諸取極ニ關スル措置要領

(日本標準規格B5) C 67

外務省

REEL No. A-1207

アジア歴史資料センター

目次

一 戦争協力ニ關スル日華共同宣言ニ關スル件

二 帝國專管租界還付ニ關スル件

三 上海共同租界及厦門共同租界移管ニ關スル件

四 佛伊租界還付方針ニ關スル件

五 北京公使館區域移管ニ關スル件

六 治外法權撤廢ニ關スル件

七 在支敵産處理ニ關スル件

外務省

一 戦争協力ニ關スル日華共同宣言ニ關スル件

二 戦争先送ニ付テノ日華協力ニ關スル取極ノ内容形式等ハ別紙第一要綱案ニ依ル

三 右取極ニ關聯スル日華間了解ノ内容形式等ハ別紙第二要綱案ニ依ル

外務省

別紙第二

〔日華基本條約締結交渉ノ際ニ於ケル「議定書」ノ署名ト同様ノ方式ノ「議定書」ナル文書ヲ作成シ右文書ニ於テ左ノ趣旨ノ日華間了解ヲ明確ニスルコト

「國民政府ハ各般ニ亘リ自國ノ途ヲ講シ廣ク民心ヲ獲得シ特ニ戰爭完遂ノ爲必要トスル生産ノ増強、戰爭目的ニ對スル官民認識ノ普及並ニ治安維持ノ強化等ノ確實ナル具現ヲ圖リ以テ戰爭完遂ニ寄與スルモノナル旨

日本側ハ右ニ對シ積極的ニ協力援助ヲ與ヘ此ノ際租界還付、治外法權撤廢、敵產處理等ニ付テモ好意的措置ヲ執ルモノナル旨

〇「議定書」ハ公表セサルコト

外務省

(日本標準規格B5)

0 71

別紙第一

〔戰爭完遂ニ付テノ日華協力ニ關スル取極ノ形式ハ「協定」「取極」等必シモ拘泥セサルモ成ルヘク「共同宣言」(事前協議可ノ上日華兩國全權委員印)ノ方式ニ依ルコト

〇本件取極ノ内容ハ左ノ趣旨ニ依ルコト

「米英ニ對スル共同ノ戰爭ヲ完遂スル爲兩國ハ不動ノ決意ト信念トヲ以テ軍事上政治上經濟上完全ナル協力ヲ爲スモノナルコトヲ宣言ス」

〇本件取極ハ調印ト同時ニ公表スルコト

外務省

(日本標準規格B5)

0 70

註、國民政府宣戰布告中ニ隊メ日本側ト協談ノ上戰爭目的ヲ明示
ヤンムルコト

右國民政府戰爭目的ニ付テハ帝國ノ戰爭目的ニ同調シ併ヤテ獨
伊等極強國及「タイ」國ノ戰爭目的ヲモ糊塗シ概ネ左ノ意旨ニ
依ル如ク適宜國民政府側ニ要望スルコト

「國民政府ノ戰爭目的ハ日本ト協力シテ米英勢力ヲ一掃シ以テ
新中國ヲ建設シ東亞ノ解放ヲ圖リ延イテ世界全般ノ公正ナル
新秩序招來ニ奇與スルニ在ルコト」

(日本標準規格B5)

外務省

ニ帝國專管租界還付ニ關スル件

帝國專管租界ノ還付ニ關シ別紙第三要綱案ノ趣旨ニ依ル取極ヲ「戰
争協力ニ關スル日華共同宣言」ト同時ニ締結シ且公表ス

(日本標準規格B5)

外務省

別紙第三

帝國專管租界還付ニ關スル取極ノ内容ハ左ノ趣旨ニ依ルコト
 「日本國政府ハ現ニ日本國力中華民國ニ於テ有スル專管租界ヲ中華
 民國國民政府ニ還付ス
 中華民國國民政府ハ舊租界ニ於ケル日本國民ノ居住及福祉等ニ
 付テハ少クトモ從來ノ租界地畝ノ程度ヲ維持スルモノトス
 日本國政府及中華民國國民以同ハ夫々同級ノ委員ヲ任命シ本取極
 ノ實施ニ關シ所要ノ事項ヲ以テセシム」

外務省

(以下標準規格B5)

0 74

上海共同租界及廈門共同租界移管ニ關スル件

上海共同租界及廈門共同租界移管ニ關シ別紙第四要綱案ノ趣旨ニ依
 ル取極ヲ「戰爭協力ニ關スル日華共同宣言」ト同時ニ締結シ其ノ一
 部ヲ公表ス

尙本件實施ニ關シテハ左ニ依ル

(一) 本件ハ關係第三國ノ意向及上海佛租界ノ處理如何ニ拘ラス之ヲ實
 行スルモノトス

(二) 上海共同租界ノ移管ハ成ルヘク速ニ之ヲ實施シ遲クモ昭和十八年
 中ニ之ヲ完了スルモノトス

(三) 廈門共同租界ノ移管ハ速ニ之ヲ實施スルモノトス

外務省

(以下標準規格B5)

0 75

別紙第四

(一) 上海共同租界及廈門共同租界移管ニ關スル正式取極ノ内容ハ左ノ趣旨ニ依ルモノトシ本取極ハ之ヲ公表スルコト

「日本國政府ハ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ中華民國國民政府ニ於テ成ルヘク速ニ上海共同租界及廈門鼓浪嶼共同租界ヲ回收スルコトニ同意ス」

(二) 右正式取極ト同時ニ兩國交渉委員署名ノ「議事錄收萃」ヲ以テ左ノ趣旨ヲ内容トスル取極ヲ爲シ之ヲ秘密トスルコト

「上海共同租界移管實施ノ時期ハ同租界内ニ於ケル友好關係益ノ介在其ノ他諸般ノ事情アルニ付此等ノ處理ヲ了シタル上別ニ協議決定スヘク又廈門鼓浪嶼共同租界移管ハ速ニ之ヲ實施ス」

外務省

四 佛伊租界還付方針ニ關スル件

(一) 帝國ノ專管租界還付取極締結ニ關聯シ伊國ニ對シ其ノ租界返還方針ニ關スル右租界返還ハ帝國ニ就ヒ原則トシテ無條件トス但シ無條件返還ニ應セサル場合ハ租界ノ實狀ニ應シ一定期間過渡的措置ヲ講スルコトヲ考慮ス

(二) 佛國ニ對シテハ前項ニ準スルモ其ノ時機ハ別途之ヲ定ム

(三) 國民政府ニ對シテハ佛伊租界必還方針ニ對シテハキ旨説明スルニ止メ之カ爲ノ形式的文書ハ作成セス

外務省

2609

北京公使館區域移管ニ關スル件

北京公使館區域ニ於ケル從來ノ特別行政ヲ中絶ニ移管スル爲別紙第五案綱案ノ趣旨ニ依ル取極ヲ「戰爭協力ニ關スル日華共同宣言」ト同時ニ締結公表シ速ニ之ヲ實施ス

(日本標準規格B5)

C 78

外務省

2609

別紙第五

北京公使館區域移管ニ關スル取極ノ内容ハ左ノ趣旨ニ依ルコト

「日本國政府ハ北京公使館區域ニ於ケル從來ノ特別行政ヲ中華民國國民政府ニ於テ速ニ回收スルコトニ同意ス」

(日本標準規格B5)

C 79

外務省

REEL No. A-1207

六 治外法權撤廢ニ關スル件

帝國ハ日華基本條約ニ基キ逐次支那ニ於ケル治外法權ノ撤廢ヲ行フモノトス
之カ爲別紙第六妥議案ノ趣旨ニ依ル取極ヲ「戰爭協力ニ關スル日華共同宣言」ト同時ニ締結シ且公表ス

外務省

別紙第六

治外法權撤廢ニ關スル取極ノ内容ハ左ノ趣旨ニ依ルコト

「日本國政府ハ中華民國ニ於テ有スル其ノ治外法權ノ撤廢ヲ速ニ實行スル意向ヲ有スルヲ以テ日華兩國政府ハ速ニ同趣ノ委員ヨリ成ル專門委員會ヲ設置シ石ニ關スル具體案ヲ審議作成セシム
中華民國國民政府ハ日本國ノ治外法權ノ部分的又ハ全般的撤廢ニ伴ヒ自國領域ヲ日本國臣民ノ居住營業ノ爲開放スハク且日本國臣民ニ對シテハ中華民國國民ニ比シ不利益ナル待遇ヲ與ヘサルモノトス

右事項ニ關シ前記專門委員會ヲ併セテ研究ヤシム
註・帝國トシテハ治外法權撤廢ノ實行ハ前記專門委員會ニ於ケ

外務省

在支敵産處理ニ關スル件

在支敵産處理ニ關シ別紙第七案納案ノ趣旨ニ依ル取極ヲ「戦争協力ニ關スル日華共同宣言」ト同時ニ行ヒ右ニ關シ公表シ速ニ實施ス

備考 本件公表ノ内容ハ別ニ定ム

外務省

ル具體案ノ作成ニ伴ヒ漸次之ヲ實施ニ移シテ全面的敵産ニ及フコトトシ先ツ國民政府ニ對スル財政援助ノ目的ニテ課税ニ關スル抜方特權ニ付速ニ調整ヲ加フル為專門委員會ヲシテ先ツ課税問題ノ研究ニ當ラシムルモノトス

外務省

別紙第七

在華帝國大使及國民政府外交部長間往復書翰ヲ以テ在支敵産處理ニ
關シ左ノ趣旨ノ收極ヲ爲スコト

「一日本國政府ハ中華民國ニ於ケル日本國押收ノ敵産、敵國人及敵
國系法人ノ財産ハ戰爭完遂上ノ必要ニ依リ日本國自ラ之ヲ處理
スルモノノ外總テ合理的方法ニ依リ速ニ之ヲ國民政府ニ移管ス
ルノ用意アルニ付右了承アリタキ旨（在華帝國大使書翰内容要
旨）

二中華民國國民政府ハ右日本國ノ好意的措置ヲ欣然受諾スルモノ
ナル旨（國民政府外交部長書翰内容要旨）」

外務省

(日本標準規格B5)

山東懸案解決ニ關スル條約

第一條

日本國ハ舊獨逸膠州租借地ヲ支那國ニ還付スベシ

第二條

日本國政府及支那共和國政府ハ舊獨逸膠州租借地ノ行政ノ移轉及該
地域内ノ公有財産ノ移轉ニ關スル細目ノ取極ヲ作成實施シ且均シク
調整ヲ要スル他ノ事項ヲ解決スルノ權限ヲ有スル共同委員會ヲ組織
スル爲各三名ノ委員ヲ任命スベシ
共同委員會ハ前記ノ目的ノ爲本條約實施後直ニ會合スベシ

(日本標準規格B6)

外務省

在朝鮮支那共和國居留地廢止ニ關スル
協定（大正三年十一月二十二日）

第一條

在仁川釜山及元山支那共和國居留地ハ各其ノ所屬ノ新定朝鮮地方區
域ニ編入スベシ

第二條

前記支那共和國居留地ノ行政事務ハ當該地方官部ニ於テ總テ之ヲ擔
任スベシ

外務省

(日本標準規格 B5)

第三百三十條

獨逸國ハ天津及漢口ニ在ル獨逸專管居留地其ノ他支那國領土内ニ存
在シ又ハ存在スルコトアルヘキ獨逸國政府所屬ノ一切ノ建築物、埠
頭及躉船、兵營、堡壘、兵器及軍需品、各種艦船、無線電信設備其
ノ他ノ公財産ヲ支那國ニ讓渡ス但シ本編第八款ノ規定ノ適用ヲ妨ケ
ス
外交官又ハ領事官ノ住宅又ハ事務所ニ使用シタル土地建物ハ之ヲ前
記讓渡物件中ニ包含セス又支那國政府ハ千九百一一年九月七日ノ最終
議定書ノ本條約實施當時ノ當事國タル列國ノ外交代表者ノ同意アル
ニ非サレハ所謂北京公使館區域内ニ在ル獨逸ノ公私財産ノ處分ニ付
何等ノ處置ヲ執ルコトヲ得ス

外務省

(日本標準規格 B5)

第三百三十二條

獨逸國ハ支那國政府ヨリ取得シ漢口及天津ニ於テ獨逸專管居留地ヲ
現ニ保有スルノ基礎タル租地權ノ失效ニ同意ス
支那國ハ前記地域ニ於テ其ノ主權ノ完全ナル行使ヲ回復スルト共ニ
各國人ノ居住及通商ノ爲之ヲ開放スルノ意思ヲ聲明ス尙支那國ハ前
記專管居留地ヲ現ニ保有スルノ基礎タル租地權ノ失效カ其ノ專管居
留地内ニ於ケル地區ノ保有者タル同盟及聯合國國民ノ財產權ニ影響
ナカルヘキコトヲ聲明ス

(日本領事規程B5)

外務省

東條總理汪主席會見、際：

於ケル總理、挨拶振(案)

一、特使來往、對之謝意

及長政府、於テハ大東亞戰爭勃

發後特、褚外交部長ヲ帝品ニ

特收セシ、敬捷、對之祝意ヲ表

スルト共、戰爭ニ協力セムトスル長政

公 信 案

在 外 公 館

17. 8. 100

存、決意ヲ傳達セシメラレタルハ帝后
政府、感謝ニ堪ヘズ、所ナリ、過般帝后
政府、平沢有田永井ニ氏ヲ答訪
使節トシテ貴國ニ派遣シタルトコロ
主席閣下ヲ特ニ優遇シ賜リ
且、官民ヲ熱誠ニ歓迎シ受ケ
欣快ニ堪ヘズ、深甚ニ谢意ヲ

公
館
文

任
外
公
館

17. 8. 100 第

里
ハ
ハ

表
ニ
次
ナ
リ

二、日本政府、大東亞戦争、協力
付テ

大東亞戦争、勸發スルヤ、日本政府、
於テハ、直ニ、帝后、協力スルノ決意
ヲ中外ニ表明シ、南東帝后、戦争

公
館
文

任
外
公
館

17. 8. 100 第

生 々 々

遂に、貴し階、陽、協力、実ヲ示サ
レツ、アルハ、帝、政府、極、多トスル
所ナリ

大東亞戦争ハ、実ニ、東亞解放、
成否ヲ決スル一大契機ヲ為スルモノニ

シテ、中国将来ノ存亡亦之ニ繫ル
帝國政府於テハ此點ニ對シ有ニル努力ヲスル可ク
不、政府、於テハ充分以テ、意義ヲ官

公 信 堂
任 外 公 信

17. 8. 100 第

生 々 々

民各層ニ徹底セシメテ、新東亞建設ノ
分担者トシテ、立場ヲ明ニシテ、一層、帝、
ト、協調セラレントシテ、希望ス

三、帝、對、華、方針 附 大東亞省ノ、役
置、付テ

帝國力既定ノ方針ニ基キ、益、國民

公 信 堂
任 外 公 信

17. 8. 100 第

公 信 堂
在 外 公 館

政府、興隆、爲最善、努力ト支援
トシ續ケントスレニナルコトハ、曩ニ禮物派
大使ヲ通シ主席閣下ニ傳へタル所ナルカ
右ハ過被答訪使節ヲモ認シテ閣
下ニ申述へタル通ナリ
今回大車運省ヲ設置シケルハ右帝
后、方策ヲ一層強力且ツ簡明ト

東 電

公 信 堂
在 外 公 館

推進セムカ爲ニ外ナク右ハ重光大使
ヨリ屢次説明先通ナリ青木大臣ハ
最近マテ是以政府は清徳向、職ニ在、
現地、此改メ能ク通曉シ居ルヲ以テ
政府ハ甚、手腕ニ期待シ極力其、
抱負、実現ヲ支援セントスレナリ、惟
ク、右氏政府、對志、帝后、協力ハ

今後一層有效且つ敏活に行ハル
ヲキリ信シテ疑ハズ

四、各政府ノ強化ニ付テ

帝正ハ各政府ヲ以テ中華民國、
於テ唯一ノ中央政府ト認メ其ノ發
展ヲ基礎トシテ日華新關係ヲ

公 信 室
在 外 公 館
17. 8. 1937

30 ● ●
11 ● ●

樹立シ以テ事變ノ解決ニ資セント
云ルモノニシテ之ヲ疎外シテ重慶政權
ト和リ講スルカキハ帝正政府ノ今ヲ
考慮セザル所ナリ

但シ各政府力不斷ニ和平建設、
實ヲ舉ゲ日華協力ノ精神ヲ宣
揚シ奥地ニ進軍スル有力分子ヲ誘

公 信 室
在 外 公 館
17. 8. 1937

9

引致得也 念及民、人心ヲ収攬スル
 ニ努力シ一日ニ速ニ全面和平ノ目的ヲ
 達成セラルルコトハ 帝心ノ期待シテ已マ
 サル所ナリ

長良政府ノ修化、付テハ 追放各派使
 節ニ對シ 主席閣下並ニ政府肯
 臨ヲ 簡陳セシメテ 所何シモ 詳細

公 信 安
 在 外 公 館

17. 8. 100號

七〇〇

之ヲ 拜承セリ 帝心軍隊ハ 中國ニ於
 テハ 依然抗日努力ニ 對シ 其他ニ於テハ
 未英軍ト 戰爭中ニシテ 斯ニ 壯勇
 下ニ 於テ 作戰上 已ムコト 得サル事
 知ル 茲 續スルコトハ 長良政府、於テモ
 多分 諒解シ 居ルコト 信ス 但シ 帝心
 ハ 大作戦、大支障ヲ 及ボサシム限リ

公 信 安
 在 外 公 館

17. 8. 106號

不民政府、修化、妨ケル事項、極
力之ヲ排除シ進ニテ其、政治力ノ
浸透リ回リ以テ其、要望スル行
政権、完整、協力スルニ各ナラズ
産業ヲ復興シ生産力ヲ擴充スル
コトハ民生、安定ヲ回リ政府ノ基礎ヲ
強固ニシテ大東亞戦争、協力スル

公
信
堂

在
外
公
館

17. 8. 103號

12

心
心
心

最美、途ナリト爲ス不民政府、見解ハ
帝后政府、所見ト全ク同一ナリ帝后
政府ハ不民政府力之ニ關シ施策ヲ
實行スルニ必要ナルアラセテ協力ヲ拂フ
先令ナル用意アリ其、要望セラルル
糧食、綢布、物資、流通及商
工業、復興、自ラハ極力之カ分理

公
信
堂

在
外
公
館

17. 8. 100號

15

● ● ●

化乃至促進ヲ回ル等事を得ん限
リ協カシ拂ハレト欲スルモノナリ

不民政府、然モ右帝國ノ協カ、
意ハシ多分、其ノ案ヲ練リ活潑、
其ノ施策ヲ進メ心ニ成果ヲ奉
ケルニ努力セラレシムトシ期待ス

不
信
案

任
外
公
館

17. 8. 100号

● ● ●

五、不民政府、参戦問題、自ラ

不民政府、参戦要領、開シテハ

景、国副院長来朝、際言及セ

レタリカ迄被答訪使等、對シテハ

主席閣下ヲ親シク説明ノ次第

アリ、不民政府ハ先今其ノ趣方ヲ

諒承セリ

公
信
案

任
外
公
館

17. 8. 100号

帝政府の熱慮、結果情勢の
重大な変化に制限、近き右に改
行、要望が充たす ~~秘密の~~
方針、決定あり、但し事務極め、機微
に及ばず、且つ重大ナル以テ詳細ハ極秘
~~秘密の~~
備へ打合セリ、遂に萬全準備ヲ

公
信
案

在
外
公
館

1917. 8. 10

整ふるに遺憾ナシ、期せしむ
尚不良政府参戦、曉ハ軍政兩
方面ニ身ヲ遺憾ナシ、其ノ機能ヲ
發揮シ、威信ヲ中外ニ示シ、益ハ
政府ノ地位ヲ向上セシムルニ一役ノ努力
ヲ拂ハレシコトヲ希望ス

公
信
案

此ノ際ハ、
予日事例トハ、
改定年三月

100番
改定年三月

REEL No. A-1207

東條總理汪主席會見ノ際ニ於ケル
總理ノ挨拶(案)

一、待使來江ニ對スル謝意

國民政府ニ於テハ大東亞戰爭勃發後特ニ諸外交部長ヲ帝國ニ持
派セラレ敬禮ニ對スル祝意ヲ表スルト共ニ戰爭ニ協力セムトス
ル國民政府ノ決意ヲ傳達セシメラレタルハ帝國政府ノ感謝ニ稱
ヘサル所ナリ過被帝國政府ハ平沼、有田、永井三氏ヲ各訪使節
トシテ貴國ニ派遣シタルトコロ主席閣下ヨリ特ニ優遇ヲ賜リ且
ツ官民ヨリ熱誠ナル歡迎ヲ受ケ欣快ニ頌ヘス故ニ敬禮ノ謝意ヲ
表スル次第ナリ

外務省

二、國民政府ノ大東亞戰爭協力ニ付テ

大東亞戰爭勃發スルヤ國民政府ニ於テハ直チニ帝國ニ協力スル
ノ決意ヲ中外ニ表明セラレ爾來帝國ノ戰爭遂行ニ對シ陰ニ協
協力ノ實ヲ示サレツツアルハ帝國政府ノ極メテ多トスル所ナリ
大東亞戰爭ハ實ニ東亞解放ノ成否ヲ決スル一大契機ヲ爲スモノ
コシテ中國將來ノ存亡亦之ニ繫ル
帝國政府ニ於テハ此點ニ關シ有ニル努力ヲナスノ用意アリ國民
政府ニ於テハ充分此ノ意義ヲ國民各層ニ徹底セシメラレ新東亞
建設ノ分擔者タル立場ヲ明シテ一層帝國ト協調セラレンコト
ヲ希望ス

三、帝國ノ對華方針

附 大東亞戰爭ノ設置ニ付テ

外務省

帝國カ既定ノ方針ニ基キ益々國民政府ノ興隆ノ爲最善ノ努力ト
支援トヲ續ケントスルモノナルコトハ幾ニ維持派大使ヲ通シ主
席閣下ニ傳ヘタル所ナルカ右ハ過般客訪使節ヨリモ親シク閣下
ニ申述ヘタル通ナリ
今因大東亞省ヲ設置シタルハ右帝國ノ方策ヲ一層強力且ツ簡明
ニ推進セムカ爲ニ外ナラス右ハ軍光大使ヨリ屢次説明セル通ナ
リ青木大臣ハ最近マテ國民政府經濟顧問ノ職ニ在リ現地ノ状況
ニ能ク通曉シ居ルヲ以テ政府ハ其ノ手宛ニ期待シ極力其ノ抱負
ノ實現ヲ支援セントスルモノナリ惟フニ國民政府ニ對スル帝國
ノ協力ハ今後一層有效且ツ敏活ニ行ハルヘキヲ信シテ疑ハス
以國民政府ノ強化ニ付テ

外務省

帝國ハ國民政府ヲ以テ中華民國ニ於ケル唯一ノ中央政府ト認メ
其ノ發展ヲ基礎トシテ日華新關係ヲ樹立シ以テ事變ノ解決ニ資
セントスルモノニシテ之ヲ疎外シテ東亞收權ト和ヲ講スルカ如
キハ帝國政府ノ全ク考慮セサル所ナリ
但シ國民政府カ不漸ニ和平建設ノ實ヲ舉ケ日華協力ノ精神ヲ宣
揚シ異地ニ透氣セル有力分子ヲ誘引獲得シ全國國民ノ人心ヲ收
攬スルニ努力シ一日モ遲ニ全面和平ノ目的ヲ達成セラルルコト
ハ帝國ノ期待シテ已マサル所ナリ
國民政府ノ強化ニ付テハ過般客訪使節ニ對シ主席閣下竝ニ政府
首魁ヨリ訓諭セラレタル所何レモ詳細之ヲ拜承セリ帝國軍隊ハ
中國ニ於テハ依然抗日勢力ニ對シ其儘ニ於テハ米英軍ト戰爭中

外務省

ニシテ斯ル情勢下ニ於テ作戦上已ムヲ得サル事雖ノ存續スルコトハ國民政府ニ於テモ充分瞭解シ居ルモノト信ス但シ帝國ハ右作戦ニ大ナル支障ヲ及ボササル限リ國民政府ノ強化ニ訪ケアル事項ハ極力之ヲ排除シ進シテ其ノ政治力ノ浸透ヲ圖リ以テ其ノ要望スル行政權ノ完整ニ協力スルニ吝ナラス産業ヲ復興シ生産ヲ擴充スルコトハ民生ノ安定ヲ圖リ政府ノ基礎ヲ強固ユシテス東亞戰爭ニ協力スル最善ノ途ナリトナス國民政府ノ見解ハ帝國政府ノ所見ト全ク同一ナリ帝國政府ハ國民政府力之ニ輔スル地策ヲ實行スルニ必要ナルアラユル協力ヲ拂フ充分ナル用意アリ其ノ要望セラルル糧食ノ調節、物資ノ流通及商工業ノ復興ニ付テハ極力之カ合理化乃至促進ヲ圖ル等出來得ル限リ協力ヲ拂ハ

外務省

ント欲スルモノナリ
國民政府ニ於テモ右帝國ノ協力ニ應ヘテ充分ニ其ノ案ヲ練リ活潑ニ其ノ進歩ヲ進メ以テ成果ヲ擧クルニ努力セラレンコトヲ期待ス
五 國民政府ノ參戰問題ニ付テ
國民政府ノ參戰要望ニ關シテハ後ニ周行政院副院長來朝ノ辭旨及セラレ過般答訪使節ニ對シテハ主席閣下ヨリ親シク説明ノ次第アリ帝國政府ハ充分其ノ趣旨ヲ諒承セリ
帝國政府ハ熱慮ノ結果情勢ニ重大ナル變化ナキ限り近ク右國民政府ノ要望ヲ容レ參戰ヲ實現セシムルノ方針ヲ採ルニ決定セリ尙帝國政府ハ國民政府ノ參戰ニ對應シ其ノ政治力強化ニ資スル

外務省